

## ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンドの基準価額の下落について

平素は「ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンド」に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、1月23日の「ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンド」(以下、当ファンド)の基準価額は7,549 円となり、年初(1月4日)と比べて1,456円下落(-16.2%)しました。この原因、背景となる市場の動き及び今後の見通しについてご報告いたします。当ファンドの基準価額が下落した主な要因は、海外株式市場の下落と、主要通貨に対する円高の二つです。

(ご参考) 基準価額の要因分析(2008年1月5日~2008年1月23日)

単位:円

1月4日 基準価額	1月23日 基準価額	変動要因			合計
		株式	為替	信託報酬等	
9,005	7,549	-1,280	-169	-7	-1,456

### 【下落の背景】

11月の米中古住宅販売成約指数や、12月の米小売売上高(速報、季節調整済み)が市場予想を下回り落ち込んだことなどから、米国経済がリセッション(景気後退)に向かうとの懸念が強まったことや、サブプライムローン問題で米銀最大手のシティグループが大幅な追加損失を発表したことなどから、世界の金融市場は年初から不安定な動きとなりました。先週末の18日にはブッシュ大統領が約1,400億ドル規模の景気刺激策を示したものの、リセッション回避には不十分との見方から、ダウ工業株30種平均は4日続落となりました。こうした中、中国銀行が米サブプライムローン問題の影響で巨額損失を計上する見通しとの観測が伝えられたことなどにより、週明け21日のアジア株式市場は大幅に下落し、この流れを受けて欧州株式市場も2001年以来の大幅安となりました。

外国為替市場でも景気後退懸念から米ドルの下値不安が広がり、ドル売りが加速、対円で2年半ぶりの安値を付けました。また、ユーロも株安を受けて対円で5ヶ月ぶりのユーロ安水準となりました。

こうした不安を緩和するため、22日、FRB(米連邦準備制度理事会)は米同時多発テロ後6年4ヶ月ぶりとなる緊急のFOMC(連邦公開市場委員会)での利下げを決定しました。この発表を受けて、欧州株式市場はおおむね上昇に転じました。連休明けとなる米国株式市場は、ダウ工業株30種平均は、一時、

前週末比で460ドル超下落しましたが、その後下げ幅を縮小し、前週末比128ドル11セント安で取引を終えました。

外国為替相場では、利下げの影響でドル建て資産の魅力が弱まり、米ドルはユーロをはじめとする主要通貨に対して下落しましたが、一方で、景気の先行き懸念を背景とした円キャリートレードの巻き戻しが緩和するとの期待から円に対しては上昇しました。

#### 海外主要株価指数の動向

株価指数	1月3日終値	1月22日終値	変化率
NY ダウ工業 30 種	13056.72	11971.19	-8.31%
FT100 指数	6479.40	5740.10	-11.41%
ドイツ DAX	7908.41	6769.47	-14.40%
フランス CAC	5546.08	4842.54	-12.69%

#### 為替レート動向

為替レート	1月4日終値	1月23日終値	変化率
ドル/円	109.28	106.96	-2.12%
ユーロ/円	161.1	156.55	-2.82%

※為替レートは三菱東京UFJ銀行 対顧客電信相場 (出所)ブルームバーグ

#### 【今後の見通し等】

今後は、米国の景気動向が世界経済に深刻な影響を及ぼすかどうか注目がされますが、世界経済の成長率は過去数年に比べ最も低い水準になるものの、米国以外の国については、比較的堅調な成長を維持するものと見ております。金融市場では、短期的には不安定な動きが続くことが予想されるものの、FRBは「環境を引き続き観察しリスクに対応する」としてさらなる利下げの用意がある姿勢を明確にしているほか、景気刺激策の効果も期待されるため、市場は次第に落ち着きを取り戻すものと考えています。

当ファンドは、引き続き、ブランド力が強く、高品質の製品やサービスを継続的に提供する企業や、圧倒的なブランド構築につながる革新的な商品開発戦略をとる企業の株式を組入れていく方針です。

以上

## ◆ 主なリスクおよび留意点

当ファンドは、主として「ING・プレステージ&ラグジュアリー・マザーファンド」を通じて、株式など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではなく、これを割込むこともあります。ファンドの投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

下記は、主なリスク及び留意点であり、当ファンドに係るすべてのリスクを網羅しているわけではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

### ○ 株価変動リスク

株式の価格は、国内および国際的な政治・経済動向、発行企業の業績、市場の需給関係等によりその価格が変動します。特に、成長性の高い企業や成長性の高い業種については価格変動リスクが大きくなる傾向があります。株式の価格が変動すればファンドの基準価額の変動要因になります。

### ○ 為替変動リスク

ファンドは、主として外貨建資産に投資を行いますので、為替変動リスクが生じます。ファンドは為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を直接的に受け、円高になればファンドの基準価額の下落要因になります。

### ○ 信用リスク

株式の発行企業が債務不履行になった場合、当該企業の株式の価格は大きく値下がりし、または、全く価値のないものになる可能性があります。発行企業の倒産、財務状況・信用状況の悪化等の影響により有価証券の価格が下落するとファンドの基準価額の下落要因になります。

### ○ 流動性リスク

株式などの有価証券を売買する場合、その相手方が存在しなければ取引が成立しません。特に、発行量の少ない場合や、多くの有価証券が長期保有の意思をもって保有されており流通量が少ない場合等、ファンドが最適と考えるタイミングで売買できない可能性があります。この場合、享受できるべき値上がりが益が少なくなったり、または、実勢より低い価格で売却しなければならないケースが考えられ、ファンドの基準価額の下落要因になります。

### ○ カントリーリスク

一般に有価証券への投資は、その国の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制等の要因によって影響を受けます。そのため、投資対象有価証券の発行国の政治、経済、社会情勢等の変化により、金融・資本市場が混乱し、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難になることがあります。

### ○ 解約資金の流出に伴うリスク

大量の解約資金を手当てするために保有有価証券等を売却する場合、ファンドの基準価額に影響を与える場合があります。

### ○ 投資対象に係る留意点

ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行い、ポートフォリオを構築しますので、株価変動、信用、流動性リスクが相対的に大きくなる傾向にあり、株式市場全体の動きと比べファンドの基準価額の動きが大きくなる場合があります。

本資料は、アイエヌジー投信株式会社が情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。一般的または特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料記載の統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、アイエヌジー投信株式会社あるいはその関連会社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時における判断であり、予告なしに変更されることがあります。アイエヌジー投信株式会社とその関連会社等は、本資料の利用に起因する、いかなる直接・間接の損害にも責任を負いません。過去の成績は将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。

◆ お客様にご負担いただく費用

**お客様に直接ご負担いただく費用**

**申込手数料**

お申込日の翌日の基準価額に対して上限3.150%（税抜き3.00%）を乗じた額とします。（注）

※＜自動けいぞく投資コース＞を選択された受益者が収益分配金を再投資する場合は無手数料とします。

（注）販売会社により異なりますので、販売会社または委託会社までお問い合わせください。

**信託財産留保額**

換金時の基準価額に対して0.3%の率を乗じた額とします。

**保有期間中に間接的にご負担いただく費用**

**信託報酬**

保有している期間の純資産総額に対し年率1.575%（税抜き1.50%）。

**その他の費用**

監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等をご負担いただきます。（その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことはできません。）

\*詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「手数料等および税金」でご確認ください。

◆ 取扱い販売会社一覧

金融商品取引業者名		登録番号	加入協会
SBIイー・トレード証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会
コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第15号	日本証券業協会 社団法人投資信託協会 社団法人日本証券投資顧問業協会 社団法人金融先物取引業協会
スタンダードチャータード銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第604号	日本証券業協会
スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長（登金）第8号	日本証券業協会
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	日本証券業協会

お問合せ先

アイエヌジー投信株式会社

金融商品取引業者 登録番号 関東財務局長（金商）第 300号

加入協会： 社団法人投資信託協会 社団法人日本証券投資顧問業協会

<ホームページ> <http://www.ingfunds.co.jp>

<電話> 03-5210-0653

本資料は、アイエヌジー投信株式会社が情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。一般的または特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料記載の統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、アイエヌジー投信株式会社あるいはその関連会社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時における判断であり、予告なしに変更されることがあります。アイエヌジー投信株式会社とその関連会社等は、本資料の利用に起因する、いかなる直接・間接の損害にも責任を負いません。過去の成績は将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。